

# 栃木県議会が進める主権者教育
# 事例集

栃木県議会



## 栃木県議会議長

## 関谷（せきや）　暢之（のぶゆき）



選挙権年齢が18歳に引き下げられてから、10年を迎えました。

こうした中、栃木県議会では、正副議長を含む県議会議員が学校を訪問し、生徒と意見交換を行う「～とちぎの未来を考える～栃木県議会 県政ミーティング」に令和５(2023)年10月から継続して取り組んでいます。

また、高校生等への本会議傍聴の呼び掛けや高校生インターンシップの受入れなど、教育委員会・選挙管理委員会・知事部局と緊密に連携し、「県議会が主体となる主権者教育推進プロジェクト」を広く展開しています。

関係者間の連携による本県議会の取組が「とちぎモデル」として広く全国に展開されることを祈念し、今般、「栃木県議会が進める主権者教育事例集」を新たに作成しました。

各学校におきましてこの事例集を十分に活用し、今こそ、栃木県議会と連携した主権者教育をご検討いただければ幸いです。

## 教育委員会と連携した取組

議員と生徒との意見交換・・・・・・・・・・・・・・ 3
総務省「主権者教育だより」(令和7年9月号)掲載

高校生等の本会議傍聴・・・・・・・・・・・・・・・ 4
総務省「主権者教育だより」(令和8年3月号)掲載

高校生インターンシップ・・・・・・・・・・・・・・ 5
総務省「主権者教育だより」(令和8年11月号)掲載

## 選挙管理委員会と連携した取組

大学生との連携による出前講座・模擬投票・・・・ 6
総務省「主権者教育だより」(令和8年8月号)掲載

## 知事部局と連携した取組

こども・若者からの政策提案コンテスト・・・・・ 7
総務省「主権者教育だより」(令和8年11月号)掲載

県議会ナビゲーターからのメッセージ ・・・・・・ 8

マニフェスト大賞2026ノミネート ・・・・・・ 9




栃木県立鹿沼東高等学校での議員との意見交換
（栃木県議会・栃木県教育委員会）

令和７年７月14日、栃木県立鹿沼東高等学校の政治・経済を選択する３年生を対象に「～とちぎの未来を考える～栃木県議会 県政ミーティング」を行いました。

全国都道府県議会議長会などの３議長会が人気漫画「葬送のフリーレン」とコラボレーションして作成したリーフレットを用いて、県議会の役割を説明しました。

その後、「私たちが拓く栃木県の未来」をテーマとして、県議会議員９名と生徒との意見交換を行い、生徒からは、人口減少対策や観光振興施策などに関する質問や提案がありました。

終了後に行ったアンケート結果では、回答した生徒のうち、「栃木県の将来や政治に興味・関心は高まったか」の問いに対して、約95%が「高まった」又は「やや高まった」と回答しました。

10月には、栃木県立真岡工業高校において今年度第２回目の県政ミーティングを予定しています。

引き続き、議会が主体となる主権者教育の推進に努めたいと考えています。



総務省「主権者教育だより」（令和7年9月号）掲載



## 栃木県立宇都宮東高等学校の県議会本会議傍聴
## （栃木県議会・栃木県教育委員会）

令和７年11月28日、栃木県立宇都宮東高等学校の公共の授業を選択する１年生約10名が栃木県議会を訪問し、本会議質疑・質問の傍聴を行いました。

これは、主権者教育の一環として、地方自治の実際の場である県議会本会議を傍聴することで、地方の課題などを自分事として捉え、主体的に考え、判断し、行動していくための思考力や判断力などを育成する機会とすることを目的として企画・実施されました。

生徒たちは、メモを取りながら、本会議質疑・質問の様子を真剣に聞いていました。

傍聴後には、正副議長との意見交換を行い、生徒からは、本会議の傍聴の感想も踏まえ、政治に期待することや県行政に望むことなどに関する意見がありました。

その後、全国都道府県議会議長会などの３議長会が人気漫画「葬送のフリーレン」とコラボレーションして作成したリーフレットを用いて、議会事務局から県議会の役割などを説明しました。

引き続き、教育委員会と連携し、議会が主体となる主権者教育の推進に努めたいと考えています。



総務省「主権者教育だより」（令和8年3月号）掲載



## 主権者教育としての高校生インターンシップの実施
## （栃木県議会・栃木県教育委員会・栃木県）

栃木県議会では、９月通常会議期間中の10月13日に高校生インターンシップをはじめて実施し、県立宇都宮東高等学校の２年生が参加しました。

これは、学校における主権者教育の一環として県議会や県政への関心を高めるとともに、県議会議員や県職員の仕事の内容や働き方に対する理解を深めることを目的として実施しました。

当日は、県議会本会議の傍聴を行った後、正副議長との意見交換を行い、生徒からは、政治家を志したきっかけなどに関する質問がありました。

その後、県総合計画「新とちぎ未来創造プラン」等について説明を受け、県政全般について理解を深めた上で、興味を持つ分野について、本会議場において模擬議会体験を行いました。

県議会の役割や県政全般について理解を深めるとともに、社会の動きをより自分事として捉え、将来の進路を更に具体的に考える経験となったようです。

引き続き、県や県教育委員会と連携し、見学だけにとどまらない、議会が主体となる実践的な主権者教育の推進に努めたいと考えています。



総務省「主権者教育だより」（令和8年11月号）掲載




## 大学生との連携による出前講座・模擬投票の実施
## （栃木県選挙管理委員会・栃木県教育委員会・栃木県議会）

栃木県選挙管理委員会は、学校における主権者教育の一環として、令和８年７月15日、栃木県議会とともに県立富屋特別支援学校を訪問し、「私たちの暮らしの中の選挙」をテーマとした出前講座を実施しました。

今回の出前講座は、若年層の講師が講義等を行うことで、選挙についてより身近で分かりやすく学べる機会を提供し、新たに有権者となる若者の選挙に対する意識の向上と、積極的な投票参加を促すことを目的に、令和７年度から開始した主権者ピア・エデュケーション事業として実施しました。

当日、宇都宮大学の大学生が講師を務め、２・３年生の14名に対し、クイズを交えながら投票行動の意義に関する講演を行いました。

その後、生徒たちは、立候補者役（教員２名）の地域課題解決に向けた公約演説を聞いた後、実際の投票箱を使用した模擬投票を体験しました。なお、模擬投票の実施にあたっては、宇都宮市選挙管理委員会に御協力いただきました。



参加した生徒からは「選挙や投票を身近に感じられるようになった」といった感想が寄せられました。

県選挙管理委員会では、今後も、県教育委員会、県議会及び大学生等の若者と連携しながら、実践的な活動を重視した主権者教育の推進に取り組みます。

総務省「主権者教育だより」（令和８年８月号）掲載



## こども・若者からの政策提案コンテストの実施
## （栃木県議会・栃木県・栃木県教育委員会）

栃木県では、こども・若者の柔軟で豊かな発想を県の施策に直接反映させるため、提案を県が施策として実現する「とちぎ未来提案実現事業」を、令和８年度から開始し、県議会も協力しています。

募集テーマを「未来に希望を持てる栃木県にするための提案」とし、中学生から29歳までの若者を対象に広く募集しました。56件の応募のうち書類審査を通過した提案７件について、令和８年９月19日に、議事堂を会場として発表会が行われました。

当日は、生徒等による発表が行われた後、知事・正副議長等の審査員による審査が行われ、宇都宮大学生の「とちぎゼロエネルギーキャンプ」に知事賞が、星の杜中学校生徒の「栃木観光ガチャガチャ」に議長賞が授与されました。

中高生や大学生が県政やとちぎの未来をより自分事として考える機会となったようです。

県では、受賞した２件について、令和９年度からの事業化に向けて検討を進めていくこととしております。

県議会では、引き続き、県や県教育委員会とも連携し、こどもや若者の意見聴取を図るとともに、こどもや若者に対する主権者教育の推進に努めたいと考えています。



総務省「主権者教育だより」（令和８年11月号）掲載











県議会ナビゲーター

井出（いで）　文恵（あやえ）　さん

フリーアナウンサー
ダイエットインストラクター

県議会ナビゲーター

永井（ながい）　塁（るい）　さん

ラジオＤＪ
ＭＣタレント

## 県議会ナビゲーターからのメッセージ

　県議会ナビゲーターの私たちも、司会として「～とちぎの未来を考える～県議会 県政ミーティング」に参加しています。
　高校生などの皆さんのとちぎの未来に向けたご意見は、私たちにとっても刺激になっていますので、今後も、より多くの皆さんにお会いできることを楽しみにしています。
　栃木県議会が進める主権者教育の今後の取組にも大いに期待しています。

栃木県議会の主権者教育推進に向けた取組の４年間の軌跡をまとめた「県議会が主体となる主権者教育推進プロジェクト～関係者間の連携による『とちぎモデル』の全国展開へ～」が2026マニフェスト大賞実行委員会主催の政策コンテスト「マニフェスト大賞2026」にノミネートされました。

（応募タイトル）

県議会が主体となる主権者教育推進プロジェクト～とちぎモデルの全国展開へ～

（取組概要）

栃木県議会では、これまで、議員と生徒との意見交換を行う県政ミーティングや、高校生の本会議傍聴の受入れ、県選挙管理委員会による学校への出前講座の開催支援を行ってきました。

こうした中、令和７年10月に設置した議会あり方検討会において、全国都道府県議会議長会の「多様な人材が輝く議会のための17の提言」等を踏まえた議論・検討を行った結果、県政ミーティングの拡充や、若者の優れた意見の模擬議会等での発表及び発表内容の実現化、広報に関する高校生等からの意見聴取などの方向性が示されました。

こうしたことを受けて、今年度は、県政ミーティングの実施校を増やしたほか、知事部局が主催する政策提案コンテスト「とちぎ未来提案実現事業」と連携し、最優秀提案の事業化を図る取組を新たに実施しています。また、高校生等への本会議傍聴の呼び掛けなどの取組も開始しました。

今後は、県政ミーティングの更なる拡充や内容の充実を図るなど、県議会からの更に積極的な働き掛けにより、教育委員会や選挙管理委員会、知事部局等との連携を一層強化することで、県議会が主体となる主権者教育の推進に向けた「とちぎモデル」を確立し、全国への横展開に努めていきます。

栃木県議会が進める主権者教育事例集

発行　令和８(2026)年11月24日

◇編集・発行

栃木県議会

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20議事堂２階
TEL　028-623-3772
E-mail　gikai-seisaku@pref.tochigi.lg.jp